



ひまわりファイル

学校・通学路の安全対策を進めています

文科省は学校の施設整備費を大幅に増額する方針です

(2019年度予算の概算要求)

①危険なブロック塀の撤去・回収の加速

▶ 大阪北部地震でブロック塀が倒壊

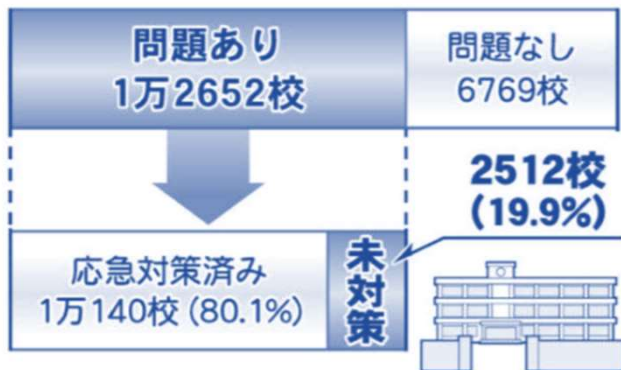
②猛暑続きでエアコンのない学校が問題に

▶ 愛知県豊田市で児童が熱中症で死亡

平成30年6月の大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、女児が犠牲になる痛ましい事故が起きたことを受けたものです。

文科省が7月にまとめた調査結果によれば、国公立私立幼稚園や小中高校など12,652校に危険なブロック塀が存在し、そのうち2,512校では安全対策が実施されていません。また、実施されているところでも、応急対応にとどまっているケースもあり、決して十分とは言えません。そのため、撤去に取り組む自治体向けの交付金拡充に取り組んでいます。

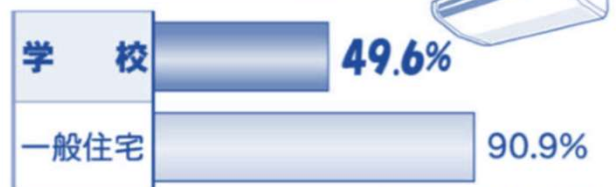
安全性に問題があるブロック塀



今年は猛暑続きで、エアコンのない学校が問題になっています。学校の普通教室での設置率は5割を下回っています。また地域差も大きいのが実情です。

7月には愛知県豊田市で、校外学習からエアコンのない教室に戻った男児が、熱中症で亡くなる事態が起きてしまいました。こうした悲劇を防ぐため、概算要求では設置を促進させる方針が示されました。

エアコンの設置率



※政府資料より作成

学校の安全対策

▶ 19年度予算概算要求で前年度予算比約3.6倍計上



学校は災害時に避難所にもなるので、防災面の充実も重要です。耐震化や老朽化対策のほか、学校や通学路の安全対策の強化に取り組んでまいります。